



2017年5月12日

芦屋市長
山中 健 様

日本共産党芦屋市議会議員団
団 長 平野 貞雄
幹事長 森 じずか
ひろせ久美子

市立幼稚園・保育所統廃合計画に関する申し入れ書

今年2月13日に明らかにされた市立幼稚園・保育所統廃合計画（以下、『統廃合』）は、大規模かつ突然のことであることに加えて、当事者である保護者や今後の利用者、地域住民までもが大きな影響を受ける内容であることに、多くの市民から驚きや不安の声とともに計画の凍結や撤回を求める声が上がっています。

芦屋市の保育・教育について議論を行ってきた「子ども子育て会議」や「学校教育審議会」では、保育・教育のあり方についての基本方向は議論されても今回の統廃合計画のような議論は行われていないことは、「子ども子育て会議」や「学校教育審議会」の委員からも指摘されていることです。

市議会においても、今回の「統廃合計画」については、発表後の予算議会中に開かれた民生文教常任委員会で所管事務調査の報告がなされただけで、正規の議案としては「提案」もましてや「議決」もされてはいません。

それにもかかわらず、市当局は、「広報あしや5月臨時号」でも『統廃合計画』は「決定」であると説明し、「民間移管」の「延期は困難」とまで述べています。議決機関である市議会の議論を無視するというあきらかに手順を踏みはずした乱暴な説明で、市民に誤解と混乱をもたらすものとして、強く抗議するものです。

当初、市議会の議決もないまま打出保育所民営化のための事業者選定委員会を4月に開催しようとしていたことも、同様の問題として重大です。ひとまず「開催中止」となりましたが、関連議案の議決もない中で、事業者選定委員会開催等民営化をはじめ統廃合のための関連事務を進めることのないよう強く求めます。

予算議会でも指摘しましたが、そもそも市民排除で策定された『統廃合計画』は一旦撤回し、市民参加の下で議論しなすべきであることを重ねて申し入れます。

以上